

宮崎日日新聞「くらしの相談」（令和7年12月25日）掲載

○ ごみ屋敷化した家屋の片付けを何とかしてほしい。

【問】

所有する家屋を一人暮らしの人に貸しているが、ごみ屋敷化し、家も傷んでいる。本人に促しても片付けようとしない。何とかならないか。

【回答】

相談を受けた市町村在住の行政相談委員が役場の福祉担当課に相談内容を伝えたところ、「この問題はこれまでも民生委員から社会福祉協議会に相談があり、役場内の関係課などで構成される支援会議の対象として、支援策が検討され、ボランティアによる片付けも行われたものの、想定以上のごみであったため一部のみの片付けしかできず、このほか金銭管理などの問題もあって支援が中断したが、今後、早急に再開し方向性を検討したい。」との説明があり、相談者にその旨伝えたところ、どうにもならないと諦めかけていたのに役場が動いてもらえることに喜んでいただきました。

その翌月、会議が開催され、ごみを全て片付けることや公営住宅への入居支援、金銭管理などの支援が行われることになりました。